

The Daily NNA

アジア経済情報紙

マレーシア版
<http://www.nna.jp/>



NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL

Tel : 03-2163-6226 Fax : 03-2163-9993 E-mail : sales_my@nna.asia

KDN PP 11802/03/2013 (031453) MCI(P)096/04/2015 転載契約 : Star Publications/Bernama

とかち製菓、ハラル大福を発売 クダ州のメーカーと年100万個生産へ

菓子製造・販売のとかち製菓（北海道中札内村）とマレーシア・クダ州の食品メーカーが提携して開発した、マレーシア初のハラル（イスラム教の戒律で許されたもの）認証を取得した大福が、首都圏クランバーで3月から販売される。両社は昨年、大福の製造で正式に覚書を交わしており、市販化に成功した。今後は販売網を拡大し、年間100万個の出荷を目指している。

Halal ハラル 情報



マレーシアで3月から発売されるハラル認証大福3種類の1つ「抹茶もち」（とかち製菓提供）

とかち製菓は、クダ州の食品メーカー、アンパン・ドロンガン（AD社）と提携し、2015年4月にケアラルンプール（KL）で開催されたM I H A S（マレーシア国際ハラル見本市）でハラル大福の試作品を出品した。翌5月にはハラル大福の製造、販売で覚書を締結。以来、ハラル大福の開発・生産を本格化している。

イオン・シャラム店で販売

ハラル大福は、イオン・マレーシアがスランゴール州シャラムで3月10日に開業予定の新店で販売される。大福の種類は、「もち」「抹茶もち」「さくらもち」の3種類。いずれも中はつぶしあんで、小売価格は1個2～

3リンギ（約54～81円）を想定している。

イオン・マレーシアで販売する背景について、とかち製菓の駒野裕之社長は「当初から現地で生産したものをお卸して国内で流通させたいと考えており、イオン・マレーシアでの販売を希望していた」と話す。イオン側もマレーシア産製品の販売を推進していることから、話し合いが進んでいったという。

大福はすべて、とかち製菓の技術を用いて、クダ州のAD社が製造。駒野社長によると、大量輸送することから冷凍・冷蔵など環境の変化に対する品質保持が課題で、「昨年のM I H A Sで紹介した試作品から、もちをいかに柔らかくするかについて、材料の配合や調理方法を工夫して、ようやく市販できる水準に達した」と話す。当初販売する3種類に加え、つぶしあんの代わりに「カヤジャム」「ココナツ」をもちの中に入れ、マレーシア人の好みに合わせた大福もち2種類も完成。現在は、3月から販売する3種類と同じマレーシア・イスラム開発局（J A K I M）のハラル認証を待っている段階で、認証を取得次第、市販化していきたい考えだ。

十勝ブランドのいちご大福も参考出品

とかち製菓とAD社との和菓子製造は、J I C A（国際協力機構）が草の根技術協力事業として推進する、クダ州と帯広市商工会議所の食産業人材育成プロジェクトがきっかけだった。J I C Aと帯広商工会議所は、13年から中小企業の海外展開支援事業として東南アジアへの食産業人材育成プロジェクトを推進し、帯広市は「十勝ブランド」の普及と地元中小企業の海外展開を推進。一方、クダ州政府とS M E コープ（旧中小企業開発公社）は、食の安全や付加価値による地域振興、地方食

のブランドイメージ向上を狙っていた。

とかち製菓は、昨年5月のAD社との覚書締結以来、大福製造を加速している。昨年12月の天皇誕生日には在ペナン日本国総領事館で開かれた式典で、デザートとしてクダ州で製造された大福が提供された。また、今年に入っても2月13~14日にクダ州で開催された「フードバレーとかちセミナー」で、十勝産ブランドイチゴの「銀龍」を用いたハラルいちご大福を出品。駒野社長は

「日本でお付き合いのある農家が、栽培しているイチゴの海外展開を目指していたことから、セミナーで大福とイチゴをアピールするために試作した。将来的には、マレーシアにイチゴを輸入していちご大福として市販したいと考えている」と語った。イチゴはマレーシアで高級な果物であることから、参加者からはいちごが大福に入るという和菓子の斬新さと珍しさもあいまって、「とてもおいしい」との評価を得ていたという。

NEWS HEADLINES

【食品】	とかち製菓、ハラル大福を発売	1	アジア情報	
【家電】	パナが新型エアコン、マで開発のアジア向け機種	3	【IT】	家電・電子市場、マは消費税導入で2割減
【金融】	R M=27.5円、\$=4.14RM(3日)	4	【運輸】	米物流MNX、シンガの同業買収
【車両】	E EV認証受け、さらに販売拡大へ=BMW	4	【車両】	タイで今月に国際自動車展、四輪・二輪40社参加
【公益】	ジョ州の渇水、制限解除後も厳しいダム水位	4	【農水】	タイの砂糖補助金、ブラジルがWTOに提訴へ
【公益】	上下水道料の一括請求、ラブアンで開始=今後拡大	5	【運輸】	インドネシアの物流市場、20年に4400兆ルピア
【公益】	ペナン自由工業地域、電圧低下が企業に影響	5	【運輸】	インドネシア国営港湾、物流効率改善で提携強化
【建設】	教育KYS、KLのインター校設立でサイムと提携	5	【建設】	シンガのケッペル、越トゥーティエム開発に参画
【IT】	Digiの設備投資、前期同水準の9億リンギ超	5	【食品】	J A全農とくしま、コシヒカリの対越輸出を開始
【商業】	小売業界、今年は10%の成長見込む	6	【車両】	印マルチ、「Sクロス」をネパールなどに輸出も
【食品】	ビール・スタウト価格引き上げへ、税制改定で	6	【製造】	東芝傘下の印UEM、オマーンで水処理施設受注
【金融】	損害保険市場、15年は2.5~3.5%増予測	7	【IT】	アルミ电解コンデンサの立隆、売上高100億元も
【金融】	マの投資家、68%が借金=アジア調査対象で最多	7	特集	
【金融】	1月の住宅ローン承認額、前月比20.4%減	7	【アジア・豪州経済統計】	14
【労働】	社会保険機構、従業員登録で4月から取り締まり	7	【健康講座】第404回・歯が溶ける?	15
【観光】	オンラインビザ申請、インド人にも適用見通し	8	【アジア三面記事】「ポリスレポート王」、活動休止	16
【政治】	ムヒディン前副首相、離党せず「戦う」宣言	8	マーケット情報、その他	
【社会】	マレーシア機残骸か モザンビーク付近=豪報道	8	商品市況	17
【社会】	「海流パターンと一致」=残骸発見でマ政府	9	クロスレート	17
			マーケット情報 為替と株式	18

PHOTO NEWS

TAKE OFF



ビール税が改定され、標準的な度数のビール飲料は8~10%の値上げが見込まれる=マレーシア(NNA)

動物は臭いで繩張りを主張する。人間ににおいてもにおいてこそが、我彼を隔てる最後の壁かと思う。これだけ海外との交流が増え、国際結婚が当たり前になつても、ここだけは簡単に入り込めない。

2月に愛知県の駅で、中国や台湾・香港ではおなじみの食べ物「臭豆腐」が原因と目される異臭騒ぎがあつた。報道によると、乗客から「アンドモニア臭がする」という訴えがあつたらしい。名前にも冠するにおいの原因は、実はアンドモニアではなく、「インドール」なのだが、日本人の感覚としては、いずれの成分にも互通するトイレ臭さが一番分かりやすかつたに違いない。

もちろん現地では、町中普通に漂う「香り」。トイレ臭いなどと通報する人はいない。海外に暮らしていると「臭い」が「匂い」に変わった瞬間にこそが、現地に溶け込んだ証拠かと思う。動物が互いの体臭を確認するがごとく。（蔵）

ギフト券プレゼント！ カンパサールアンケート

NNA の季刊紙『カンパサール』では、次号 2016 年 4 月号の特集で「日本ブランド」を取り上げます。現地駐在員や日本の方に「海外生活に必要な日本ブランド」についてアンケート調査を実施いたします。
そのブランドのお写真も募集中！

お知らせ

(回答方法: 下記のページからご回答ください)

<http://news.nna.jp/app/questionnaire/index/20160223182>

※回答内容や回答者の個人情報を第三者に提供、または調査目的以外に利用することはございません。